

施策番号	1301		
施策名	市民ぐるみ・地域ぐるみで子育てを支え合う子育て支援の風土づくり		
概要	社会のあらゆる場で子どもたちを共に育む実践の輪が広がるよう「子どもを共に育む京都市民憲章」の普及促進に取り組むとともに、全市・行政区・地域の各レベルの子育て支援ネットワークの連携の強化と協働した取組の展開を図る。		
担当局・部室	保健福祉局・子育て支援部	共管局・部室	
上位政策	13 子育て支援		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市未来こどもプラン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		24年度	25年度	26年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	京都やんちゃフェスタ(第1部・第2部)参加人数(人)	c	a	51,000	31,000	51,000	60.8%	e	0.50
2	子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)実施箇所数(箇所)	a	a	29	31	32	96.9%	b	1.00
3	地域子育て支援拠点事業の利用人数(人)	-	-	546,178	569,083	546,178	104.2%	a	1.00
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	a	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		26年度回答					有効回答 者数	評価
		そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない		
1	子どもの見守り活動など、身近な地域で子どもとの交流 や子育て支援の取組が進んでいる。	66 12.9%	223 43.7%	147 28.8%	52 10.2%	22 4.3%	510	b
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						b

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					25 年度	A
	重み付け	☒ 客観指標	b	☐ 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 対象者が子育て世帯という限られた施策であり、市民の生活実感に施策の効果が反映されにくいと考えられるため、客観指標を重視する。						25 年度	A
(原因分析) 【客観指標】●やんちゃフェスタ参加人数については、台風27号の接近に伴う天候不良により大幅減となったため、a→e評価と悪化した。 ●つどいの広場設置数については、目標の3箇所増には至らなかったものの、25年度は2箇所設置できたため、a→b評価と安定している。 ●地域子育て支援拠点事業の利用人数については、積極的な周知等に努めた結果、過去最高の利用者数となったため、a評価となった。 【市民の実感】地域ぐるみの子育て支援に関する気運の高まりや環境づくりによって、半数以上の方が取組が進んでいると感じていただいており、昨年度に引き続きb評価と安定した評価となった。						24 年度	B

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況(千円)		26年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		25年度 決算額	26年度 予算額		
1	民営保育所地域活動事業	28,053	36,611	かなり良い	保健福祉局
2	子どもネットワーク運営	101,484	97,787	良い	保健福祉局
3	地域子育て支援ステーション	42,812	43,062	良い	保健福祉局
4	子どもを共に育む京都市民憲章の推進	11,908	12,423	良い	保健福祉局
5	京都やんちゃフェスタ	10,818	19,382	普通	保健福祉局
6	「京都市未来こどもプラン」次期計画策定	19,840	30,113	－	保健福祉局
7	子ども・子育て支援新制度事務費	63,193	150,839	－	保健福祉局
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

- 「子どもを共に育む京都市民憲章」の理念を市民生活の中に浸透させるため、やんちゃフェスタの開催、行動指針の策定や実践推進者表彰の実施で実践行動の輪が広がるように取組を進める。
- 近隣に児童館のない地域などに、つどいの広場の新規設置をすることにより、子育て支援ネットワークをより充実させて、地域において子育てを支え合うまちづくりを進めていく。

施策名	1301	市民ぐるみ・地域ぐるみで子育てを支え合う子育て支援の風土づくり				
指標名	京都やんちゃフェスタ（第1部・第2部）参加人数（人）					
担当課	児童家庭課		連絡先	251-2380		
1 指標の説明						
子育てに関する機関・団体、企業や学生などが一堂に会し、子育ての楽しさや子どもたちの輝きを実感できるイベントへの参加者数						
2 指標の意味						
市民ぐるみで子育てを考える場の活性化状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
参加者数概数						
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度
数値	51,000	31,000	20,000人減	51,000	過去3年間の最高値	60.8%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準						
最新の数値が過去3年間の a：最高値以上 b：最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上 c：上中間値未満～平均値以上 d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上 e：下中間値未満						
6 基準説明						
過去3年間の数値を基に、過去3年間最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。 最高値：51,000（平成24年度） 平均値：49,833 最低値：48,500（平成23年度）						
7 評価結果						
242526						
c a e						

指標名	子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）実施箇所数（箇所）					
担当課	児童家庭課		連絡先	251-2380		
1 指標の説明						
子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）の実施箇所数 ※子育て支援活動いきいきセンター…主に乳幼児（0～3歳）を持つ子育て中の親とその子どもが気軽に集い、交流を図るとともに、育児相談などを行う場所（施設）						
2 指標の意味						
身近な地域で子育て親子が交流する場の充実状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
算出方法：当該年度末の実施箇所数 出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度
数値	29	31	2箇所増	32	平成21年度現況値（20箇所）と平成26年度目標値から、各年度の目標を等差的に算出	96.9%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		35	26年度	88.6%	京都市未来こどもプラン	
5 評価基準						
該当年度の実施箇所数が a：新規実施3箇所以上 b：新規実施2箇所 c：新規実施1箇所 d：増減なし e：減少						
6 基準説明						
「京都市未来こどもプラン」で掲げる平成26年度までの目標数値（35箇所）を達成するためには、各年度平均3箇所の新規実施が必要であるため						
7 評価結果						
242526						
a a b						

施策名	1301	市民ぐるみ・地域ぐるみで子育てを支え合う子育て支援の風土づくり										
指標名	地域子育て支援拠点事業の利用人数（人）											
担当課	児童家庭課		連絡先	251-2380								
1 指標の説明 地域子育て支援拠点事業（一般型（つどいの広場・保育所）48箇所、連携型（児童館）131箇所）の利用人数。 地域の子育て中（主に乳幼児（0～3歳））の親子の交流促進や育児相談など、子育て家庭を地域で支える取組を実施												
2 指標の意味 身近な地域で子育て親子が交流する場の利用状況を示す指標			3 算出方法・出典等 算出方法：各施設毎の利用者数 出典：事業担当課調べ									
4 数値												
	前回数値	最新数値	推移	目標値								
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度						
数値	546,178	569,083	22,905人増	546,178	過去3年間の最高値	104.2%						
	全国順位	中長期目標				備考						
		数値	目標年次	達成度	根拠							
数値												
5 評価基準 最新の数値が過去3年間の a：最高値以上 b：最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上 c：上中間値未満～平均値以上 d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上 e：下中間値未満			6 基準説明 過去3年間の数値を基に、過去3年間最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。 最高値：546,178（平成24年度） 平均値：513,860 最低値：493,360（平成22年度）			7 評価結果						
						<table><tr><td>24</td><td>25</td><td>26</td></tr><tr><td>-</td><td>-</td><td>a</td></tr></table>	24	25	26	-	-	a
24	25	26										
-	-	a										